

令和6年度 松本短期大学 喀痰吸引等研修会カリキュラム

基本研修（講義50時間）

月	日	曜日	時間	科目	内容	時間	場所
6	29	土	8:45 ~ 9:00	オリエンテーション			松本短期大学 207教室 丸山 武井
			9:00 ~ 10:30	人間と社会 (喀痰吸引等研修の経緯と介護職の役割)	①個人の尊厳と自立 ②医療の倫理 ③利用者や家族の気持ち	0.5 0.5 0.5	
			10:40 ~ 12:10	保険医療制度とチーム医療	①保健医療に関する制度 ②医療行為に関する法律	1 0.5	
			12:10 ~ 13:00	昼休み			
			13:00 ~ 13:30	保険医療制度とチーム医療	③チーム医療と介護職との連携	0.5	
			13:35 ~ 15:35	安全な療養生活	①たんの吸引や経管栄養の安全な実施 ②救急蘇生法	2 2	
7	6	土	9:00 ~ 10:00	健康状態の把握	①身体・精神の健康 ②健康状態を知る項目（バイタルサインなど） ③急変状態について	1 1.5 0.5	207教室 介護実習室 武井
			10:10 ~ 11:40	健康状態の把握			
			11:50 ~ 12:20	健康状態の把握			
			12:20 ~ 13:20	昼休み			
			13:20 ~ 14:50	清潔保持と感染予防	①感染予防 ②職員の感染予防 ③療養環境の清潔、消毒方法 ④滅菌と消毒	0.5 0.5 0.5 1	
			15:00 ~ 16:00	清潔保持と感染予防		1	
7	13	土	9:00 ~ 10:30	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論	①呼吸のしくみとはたらき ②いつもと違う呼吸状態 ③たんの吸引とは	1.5 1 1	207教室 介護実習室 丸山
			10:40 ~ 11:40	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論			
			11:50 ~ 12:50	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論			
			12:50 ~ 13:30	昼休み			
			13:30 ~ 15:30	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論	④人工呼吸と吸引 ⑤小児の吸引について ⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	2 1 0.5	
			15:40 ~ 16:40	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論		1	
7	27	土	9:00 ~ 10:00	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論	⑦呼吸器系の感染予防と予防（吸引と関連して） ⑧たんの吸引により生じる危険、事後の安全確認 ⑨急変、事故発生時の対応と事前対策	1 1 1	207教室 介護実習室 丸山 武井
			10:10 ~ 11:10	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論			
			11:20 ~ 12:20	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論			
			12:20 ~ 13:00	昼休み			
			13:00 ~ 14:00	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論	⑨急変、事故発生時の対応と事前対策	1	
			14:10 ~ 15:40	高齢者及び障害児・者の経管栄養概論	①消化器系のしくみとはたらき ②消化・吸収とよくなる消化器の症状 ③経管栄養法とは	1.5 1 1	
8	5	月	9:00 ~ 10:00	高齢者及び障害児・者の経管栄養概論	④注入する内容に関する知識 ⑤経管栄養実施上の留意点 ⑥小児の経管栄養について	1 1 1	207教室 介護実習室 武井
			10:10 ~ 11:10	高齢者及び障害児・者の経管栄養概論			
			11:20 ~ 12:20	高齢者及び障害児・者の経管栄養概論			
			12:20 ~ 13:10	昼休み			
			13:10 ~ 14:40	高齢者及び障害児・者の経管栄養概論	⑦経管栄養に関する感染と予防 ⑧経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 ⑨経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 ⑩急変、事故発生時の対応と事前対策	1 0.5 1 1	
			14:50 ~ 15:50	高齢者及び障害児・者の経管栄養概論		1	
8	8	木	9:00 ~ 10:00	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順	①たんの吸引で用いる危惧、機材とそのしくみ、清潔の保持 ②吸引技術と留意点	1 2	207教室 介護実習室 丸山 武井
			10:10 ~ 12:10	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順			
			12:10 ~ 13:00	昼休み			
			13:00 ~ 16:00	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順	②吸引技術と留意点 ③たんの吸引に伴うケア ④報告及び記録	3 1 1	
			16:10 ~ 17:10	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順		1	
			17:20 ~ 18:20	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順		1	
8	9	金	9:00 ~ 10:00	高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順	①経管栄養に用いる危惧・機材とそのしくみ、清潔の保持 ②経管栄養の技術と留意点	1 2	207教室 介護実習室 武井 丸山
			10:10 ~ 12:10	高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順			
			12:10 ~ 13:00	昼休み			
			13:00 ~ 16:00	高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順	②経管栄養の技術と留意点 ③経管栄養に必要なケア ④報告及び記録	3 1 1	
			16:10 ~ 17:10	高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順		1	
			17:20 ~ 18:20	高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順		1	
講義時間合計							50

筆記試験/補講/再試験

月	日	曜日	時間	科目	内容	時間	場所
8	10	土	9:30 ~ 9:50	オリエンテーション	筆記試験にあたって		305教室
			10:00 ~ 11:00	筆記試験			
			11:10 ~ 11:30	オリエンテーション	誓約書の提出、演習評価について、実地研修について、試験結果		
8	19	月	9:00 ~ 17:00	補講日			207教室
8	20	火	10:00 ~ 11:00	筆記試験（再）			207教室

演習

※ 詳細は研修が始まったら説明します。

月	日	曜日	時間	科目	内容	時間	場所
8	22 23	木 金	9:00 ~ 18:00	1.口腔内の喀痰吸引 2.鼻腔内の喀痰吸引 3.気管カニューレ内部の喀痰吸引 4.胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養 5.経鼻経管栄養	95人をA.B.Cグループに振り分け、各グループが2日間で吸引と経管栄養の5行為の演習評価を修了する。 * 救急蘇生法；心肺蘇生、AED ※ Aグループは実務者研修修了者のグループです ※ Bグループは1~3グループ、Cグループは4~6グループです	Aグループ 2日間	介護実習室 入浴実習室
						Bグループ 2日間	
8	26 27	月 火	9:00 ~ 18:00			Cグループ 2日間	
8	30 31	金 土					
演習実施時間合計							3グループ×2日間=6日間

実地研修

期間	項目	内容	時間	場所
令和6年9月17日~令和7年1月31日	実地研修	吸引・経管栄養の実地研修と評価	5日間 程度	自施設